

意見交換(主な質疑応答)

※発言内容を分かりやすくするため、趣旨を損なわない範囲で整理・要約しています。

※個人が特定されないよう、氏名・地区名等は掲載していません。

1) 観光案内看板・写真スポット・展望台管理について

意見：

観光地では案内看板が重要であり、現在ある看板を見直して、できるだけ写真も入れながら、初めて来た人でも迷わず行けるようにしてほしい。大きな道路沿いだけでなく、目的地まで案内してほしい。

また、観光地では「ここで写真を撮りたい」と思える場所づくりも大切であり、展望台については、木の成長で景色が見えにくくならないよう管理してほしい。さらに、観光施設や文化財の説明表示、多言語表記、QRコードの活用なども進めてほしい。

市長→

案内看板の見直しは大切な課題だと認識しています。道路状況の変化により、これまでの案内では分かりにくくなっている場所もあると考えています。

また、多言語表記や説明表示の充実、写真を撮りたくなるスポットづくり、展望台などの施設管理についても重要であると考えており、分かりやすい案内と魅力発信につながるよう取り組んでいきます。

2) 二次交通・観光ルート・クルーズ船対応について

意見：

市外や県外から来た人にとって、駅に着いてもどこへ行けばよいか分かりにくく、観光地までの移動手段にも課題がある。食も含めた観光ルートづくりとあわせて、観光地までの移動方法を一体的に考えてほしい。

また、クルーズ船で来訪する方からは、日向の食は評価が高く、無料シャトルバスも好評との声がある一方、外国人旅行者への案内や、寄港時のおもてなしについては、客層に応じた工夫が必要ではないか。

市長→

駅や港から観光地へのアクセスをどう確保するかという二次交通は、本市にとって大きな課題です。タクシーや貸切車両の活用も含め、観光客が移動しやすい仕組みについて検討していきます。

クルーズ船についても、案内体制やおもてなしの工夫が必要だと考えています。基本的な歓迎の形を大切にしながら、来訪者の客層に応じた対応についても考えていきます。

3) 食の情報発信・飲食店マップについて

意見：

市外や県外から来た方が、どこで何を食べられるのか分かりやすいよう、飲食店情報をまとめた冊子やマップがあるとよいのではないかと。過去に作成された例もあるため、改めて取り組めるとよい。

市長→

食の情報発信は重要だと考えています。一方で、民間や関係団体等がマップを作る場合には、掲載方法

等の課題があると聞いています。

民間の情報誌やデジタル媒体の活用も含め、より分かりやすく、継続しやすい情報発信の方法を考えていきます。

日向市観光協会→

食のマップについては、作成後の変更に対応できないなど課題があります。現在は、GoogleMAPと連動して、デジタルで市内のおすすめ店を見られる QR 付きカードを観光案内所で配布するなどしているのご活用いただきたい。

4) アートを活用した広域観光について

意見：

空き家や古民家などを活用し、広いエリアをつなぐアートによる観光の取組ができないか。若いアーティストの発表の場にもなり、新しい人の流れを生み出すきっかけになるのではないかな。

市長→

芸術やアートには、長期的に人を呼び込む力があると考えています。文化や歴史的資源も含め、本市には活用できる素材があります。

今後の観光資源として、どのような形で生かしていけるか、可能性を考えていきます。

5) 宿泊施設・滞在型観光について

意見：

サーフィンなどを目的に訪れる方だけでなく、その家族も安価に利用しやすい宿泊施設があるとよい。一方、上質な滞在を求める旅行者に対応できる宿泊施設も必要ではないかな。

市長→

家族で利用しやすい宿泊施設も、質の高い滞在に対応できる宿泊施設も、本市では十分とはいえない状況です。

そのため、民間事業者による宿泊施設の誘致に向けて取り組んでいます。今後も、本市の魅力を伝えながら誘致に努めていきます。

6) 細島や馬ヶ背などの魅力発信について

意見：

食や宿泊も含め、まずは情報発信が重要である。馬ヶ背やクルスの海だけでなく、細島の町並みや歴史資源などにも魅力があり、知られていないだけで観光の可能性は大きい。周遊しながら楽しめる形で、もっと発信してほしい。

市長→

魅力ある場所でも、知られなければ訪れてもらえませんので、情報発信の強化は非常に重要です。

日向岬や馬ヶ背、細島の町並みなど、本市ならではの資源をどう見せていくか、周遊の視点も含めて考え

ていきたいと思います。